

# 健友ネット集会所分散会

## 友の会・職員が取り組み報告

2月11日午後、健友ネット集会所をアイプラザ一宮で開催しました。全部で28演題の発表を5会場に分かれて行ないました。

発表は、この一年間で友の会・職員が取り組ん



分散会の様子

「原発視察報告の話をして、原発はいったん事故にあうと経済的にも多大な費用がかかるため、一日も早く廃止すべきだと思います」「一日医師体験の話も聞いて、全職種へ広げられたらいいな」と思い参考になりました。」などありました。

### 分散会の報告紹介①

#### 新しい高校生一日医師体験

千秋病院 医局事務課 久保明日香

医局事務課は「新しい高校生一日医師体験」の報告をします。

千秋病院では医学部進学を目指す学生が実際の医療現場の見学や医療体験を通じて明確な目標をもち、受験勉強を頑張れるようにと高校生一日医師体験を開催してきました。今まで行

また、「利用者の希望を実現するために忘れよかったです」という感想も聞かれました。

ちやならない多職種連携の報告をきいて、ケアマネがいろいろな職種の方と積極的にかかわって支援をしっかりとやっていくという姿勢が見られてよかったです」という感想も聞かれました。



長谷川誠医師による縫合体験

「縫合体験」「バイタルチェック」「心肺蘇生」「医師懇話」の4つの会場で、今年度は8月17日、31日の2日間に高校生一日医師体験を開催しました。今まで行

談」の医療体験を行ない、その後病院見学を実施しました。その結果、2日間14名の高校生が参加し、8名の医師が担当しました。



### PFAS相談外来 千秋病院に設置

各地で発がん性などが指摘される有機フッ素化合物PFAS（ペーファス）が地下水などから検出され、各地で人体へのPFAS汚染実態調査が始まっています。

「安全・安心に暮らせる北名古屋の会」が愛知県民主医療機関連合会を通じて、PFAS相談外来を設置している千秋病院へ血液検査の依頼がありました。1月27日、事前予約していた57名が採血しました。

#### 医師からの声

内科 佐藤 裕子

内科 村手 孝直

### 医療崩壊を防ぐための医師増員を

医師・医学生の署名協力を



署名はネットから

日本は、人口当たりの医師数も医学部卒業生数も先進国最低の状況で、健康を壊しながらも働く医師が増え、過労死となるケースも発生しています。

国民が安心して医療を受けるためにも、すべての医師が健康でいきいきと働くためにも、医師の増員は不可欠です。日本の医療をまもるために、

今年4月から始まる「医師の働き方改革」では、医師の時間外・休日労働に上限規制が設けられますが、その上限は過労死ラインを大幅に超えるものです。また、実際は働いているのに労働時間とみなされない「名ばかり宿直」や、教育・研究は時間外申請ができないなどの実態も報告されています。

病気が治っていないければ治療方針の修正、治ってきたら病状に合わせて点滴や食事の調整、いつリハビリを開始するかなど、持病の薬は現状のままでも良いかグルグル悩みたいし、患者さんやご家族への説明等々で、一人一時間くらい使いたいです。ただ、私が担当する入院患者さんは平均25人。不眠不休で働いても（不眠不休では働かないが）、1人に1時間使うと、1日かけても仕事が終わらない。切実に、医師が増えてほしい。

### SDHとは何か

#### 職員37人が研修

1月22日、29日に入職4年目以降の職員を対象に、SDH（健康の社会的決定要因）研修を開催しました。

SDHとは、人が病気になるのは体質などの個人的要因だけでなく、生活・社会環境などの社会的要因があるという考え

人のサポートや支援のネットワークが充実している地域とそうでない地域とでは、高齢者がうつになる割合に1・7倍の差があります。

そういった社会の差によって健康の差が出ることを、「健康格差」と呼んでいます。あえて格差と呼ぶのは、それは個人の努力ではどうしようもない、倫理的、道徳的な課題があるというメッセージも含んでいます。

参加者からは「患者の思いや背景に着目することとは自然にやっているよね」「初心に返った」「個人でやれることに限界がある。もっと政治に参加しよう」「署名活動へ参加します」などの感想がありました。

チーム医療の重要性が叫ばれているが、その本質は相手に分かりやすく伝達することにある。数的な医師の増員のみならず、質的にも連携をより効率化した医療改革を望みたい。

服部 あゆみ

職員育成委員